

# 枚方市伊加賀本町～八幡市橋本北ノ町

歩行距離 約11.1km  
標準歩行時間 約2時間20分

京街道のなかでも、大きな見どころの一つである「枚方宿」を歩きます。この辺りは、地域の人々によって街道の景観をとどめる取り組みを行っています。時期によってはイベントも行われており、散策をより楽しいものにしてくれます。そこからさらに歩を進め、御殿山から牧野、楠葉を過ぎ、いよいよ京都に入ります。

淀屋橋駅	京阪本線準急 約27分	枚方公園駅	京阪本線準急 約27分
橋本駅	京阪本線準急 約26分	枚方市駅	京阪本線準急 約2分
橋本駅	京阪本線準急 約3分	橋本駅	京阪本線準急 約27分
橋本駅	京阪本線準急 約15分	丹波橋駅	京阪本線準急 約8分
		橋本駅	京阪本線準急 約27分

(2024年3月現在の昼間時の列車運行時刻をもとに記載)



## ひらかたパーク

100年以上の歴史をもつ大阪府下最大級の遊園地。夏はプール、冬はスケートやイルミネーションも楽しめます。年間の来園者数は100万人以上。39種類のアトラクションやバラ園、四季折々の花々が揃い、休日には多くの人で賑わいます。



- 駐車場あり ● 開園時間: 10時～17時(但し、曜日・時期により異なる)
- 入園料: おとな(中学生以上) 1,800円、子ども(2歳～小学生) 1,000円
- 休園日: 不定休 ● 京阪電車 枚方公園駅から南へ徒歩約3分

## 市立枚方宿鍵屋資料館

江戸時代、京街道の宿場として、また淀川舟運の中継港として賑わった「枚方宿」の歴史を紹介する資料館。当時の町家建築である市有形文化財の「主屋」と、国登録有形文化財の建築である「別棟」の2つの建物からなり、歴史的建造物の中で往時の旅の雰囲気を体感することができます。※鍵屋別棟は2023年8月に国登録有形文化財に告示されました。



- 駐車場無し ● 開館時間: 9時30分～17時(入館受付は16時30分まで)
- 入館料: 大人200円、高校生・大学生100円(要 学生証提示)、中学生以下無料。年間パスポートあり ● 休館日: 火曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始(12/29～1/4) ● 京阪電車 枚方公園駅から西へ徒歩約5分

## 淀川資料館

昭和52年(1977)に、日本で最初の「河川博物館」としてオープン。自然・歴史・文化から防災・河川改修事業まで淀川の姿を知ることができます。「淀川の環境」「くらしと淀川」「淀川の歴史」のゾーンに分かれ、随時、企画展示も行っています。



- 開館時間: 10時～16時
- 入館無料 ● 休館日: 第3土曜日、第3日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3) ● 京阪電車 枚方市駅から西へ徒歩約7分

## 万年寺山

以前、万年寺があったことから万年寺山と呼ばれる小高い丘陵。「万年寺山の緑陰」は、枚方八景の一つであり、なかでも意賀美(おかみ)神社の梅林の美しさは名高く、見物客でにぎわっています。豊臣秀吉が建てたとされる御茶屋御殿跡は展望広場となっています。



- 京阪電車 枚方市駅から南西へ徒歩約15分

## 国史跡楠葉台場跡

幕末期、京都防衛のために江戸幕府が勝海舟を設計の総責任者として築いた西洋式の要塞。台場でありながら、関所としての機能もあわせ持ち、幕府に敵対する尊皇攘夷派を京都に入れないために築かれた、と考えられます。現在川沿いに残る台場跡としては、国内唯一の国の史跡に指定されています。



- 京阪電車 橋本駅から南へ徒歩約10分
- 駐車場無し

## 渚院跡

渚院は、平安時代前期の皇族、惟喬親王(これたかしんのう)の別荘。立太子争いに敗れた惟喬親王は、景色の良い渚院で「世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」と詠んでいます。



- 京阪電車 御殿山駅から北東へ徒歩約8分

## 宿 駅と淀川舟運で発展した枚方宿

枚方宿(東海道五十六次)の規模の大きさは、京街道(東海道)のなかでも屈指で、西の見附から東の見附までは約1.5kmに及びます。淀川を進む三十石船の乗客に対して「餅くらわんか、酒くらわんか」と売りつけにきた小舟は「くらわんか舟」と呼ばれ、この辺りで発展しました。「三味や太鼓で船停める」と船頭歌にも歌われた、代表的な船宿である「鍵屋」は現在は資料館となっており、街道の歴史を今に伝えています。



56次 枚方宿 *
人 口 1,549人(378軒)
本 陣 1軒
旅 籠 屋 69軒
宿 建 人 馬 100人 100疋
困 人 馬 30人 20疋
最 寄 駅 京阪 枚方公園駅 ～枚方市駅

\*「東海道宿村大概帳」道中奉行所編 天保14年(1843)より